

## 日吉ダム最大流入時に約64%を貯留 保津橋地点のはん濫注意水位超過時間を短縮

淀川水系桂川の水資源機構日吉ダム（南丹市日吉町）流域では、前線及び台風16号の降雨により、9月19日16時から21日6時までの総雨量が99mm（ダム流域平均雨量）を記録しました。

この降雨により、ダムへの最大流入量は、毎秒416立方メートルとなりました。

この洪水に対して、日吉ダムでは防災操作を実施し、最大流入時に約64%（毎秒268立方メートル）の水をダムに貯留して、ダム下流の河川水位の低減に努めました。

今回の防災操作により、日吉ダムが無い場合と比べ、保津橋地点（亀岡市保津町下中島地先）の河川水位を最大約0.1メートル低減し、はん濫注意水位（3.30m）の超過時間を約2時間短縮したものと想定されます。

※防災操作：大雨により、ダムに流れ込む水の一部をダムに一時的にため込んで、ダムから下流に流す量を減らし、下流の川の水位を低減させる操作。

※今回の発表は速報値であり、今後の調査により数値等が変わることがあります。

平成28年9月21日（6時時点）

独立行政法人 水資源機構 日吉ダム管理所

### 発表記者クラブ

京都府政記者室  
南丹市政記者クラブ

### 問い合わせ先

独立行政法人 水資源機構 日吉ダム管理所 所長代理 佐々木  
住 所：京都府南丹市日吉町中神子ヶ谷68  
電 話：（0771）72-0171（代表）

## ひよし 日吉ダム最大流入時に約64%を貯留 ほつぼし 保津橋地点のはん濫注意水位超過時間を短縮

淀川水系桂川の日吉ダム（南丹市日吉町）流域では、前線の影響により9月19日16時頃から雨が降り始め、その後、台風16号の影響により、20日12時から15時までの3時間で53mm、13時から14時までの1時間では22mmを観測するなど、21日6時までに総雨量99mm（ダム流域平均雨量）を記録しました。

この降雨により、ダム流入量が増加し、20日15時00分には洪水量（毎秒150立方メートル）に達したため、防災操作を開始しました。

20日18時20分には、ダム流入量が最大（毎秒416立方メートル）となりました。同時刻におけるダム流下量は毎秒148立方メートルであり、流入量の約64%（毎秒268立方メートル）をダムに貯留しました。

### 日吉ダム防災操作の概要

	流域平均総雨量	ダムへの流入量が最大となった時刻	同時刻におけるダムへの流入量	同時刻におけるダム流下量	同時刻におけるダム貯留量
日吉ダム	99mm	平成28年9月20日 18時20分	毎秒416m <sup>3</sup>	毎秒148m <sup>3</sup>	毎秒268m <sup>3</sup>

今回の防災操作により、日吉ダムが無い場合と比べ、ダム下流の保津橋地点（かめおかしほつちようしもなかしま 亀岡市保津町下中島地先）の河川水位を最大約0.1m低減し、はん濫注意水位（3.30m）の超過時間を約2時間短縮したものと想定されます。

なお、ダムが無かった場合には、保津橋地点における河川水位は、はん濫注意水位を約8時間超えていたものと想定されます。

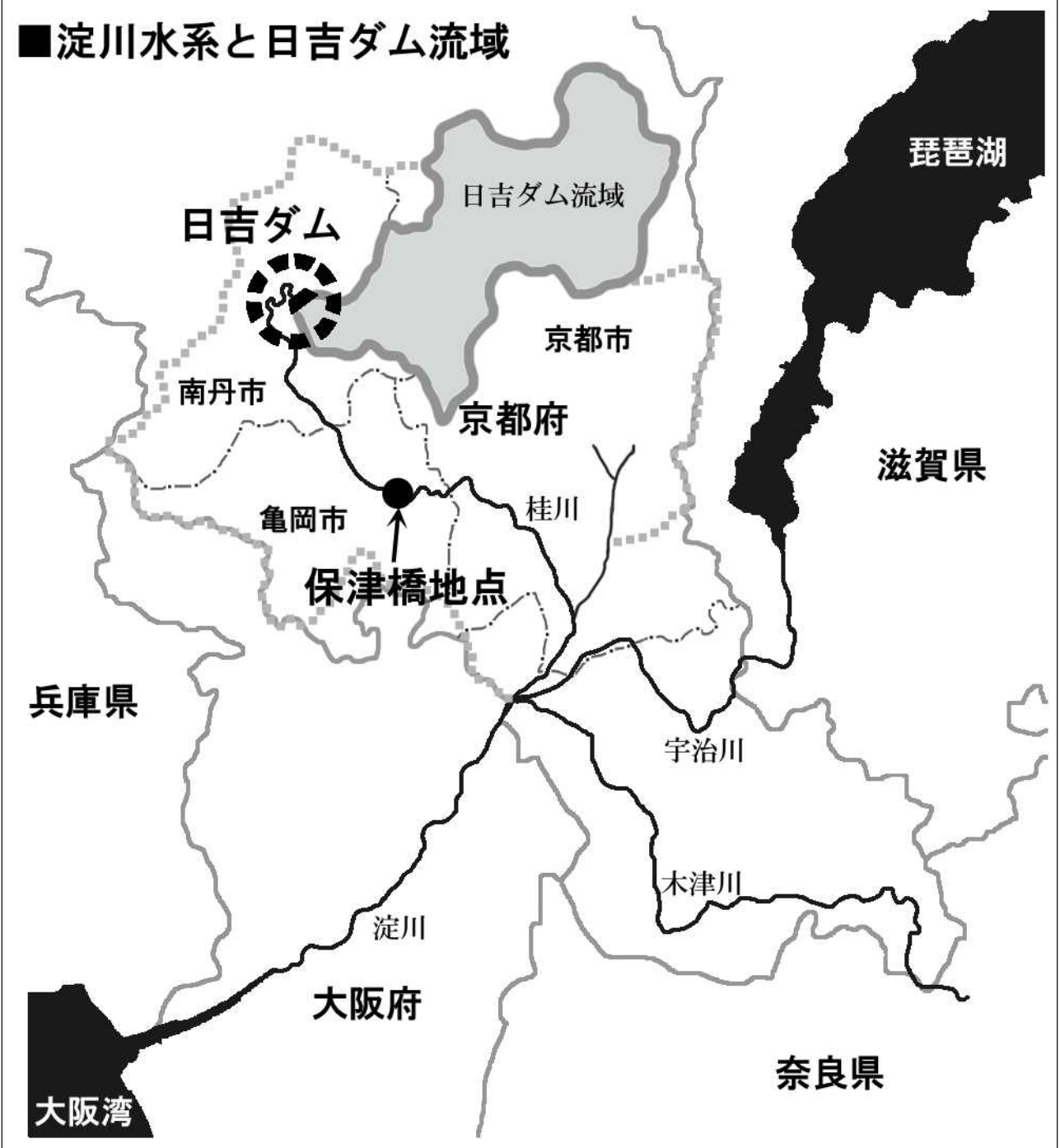
### 保津橋地点の水位低減効果

保津橋地点の河川水位が最高水位となった時刻	同時刻における保津橋地点の河川水位	ダムがなかった場合の同地点の最高水位	水位低減効果
平成28年9月20日 17時50分	3.92m	3.98m	0.06m

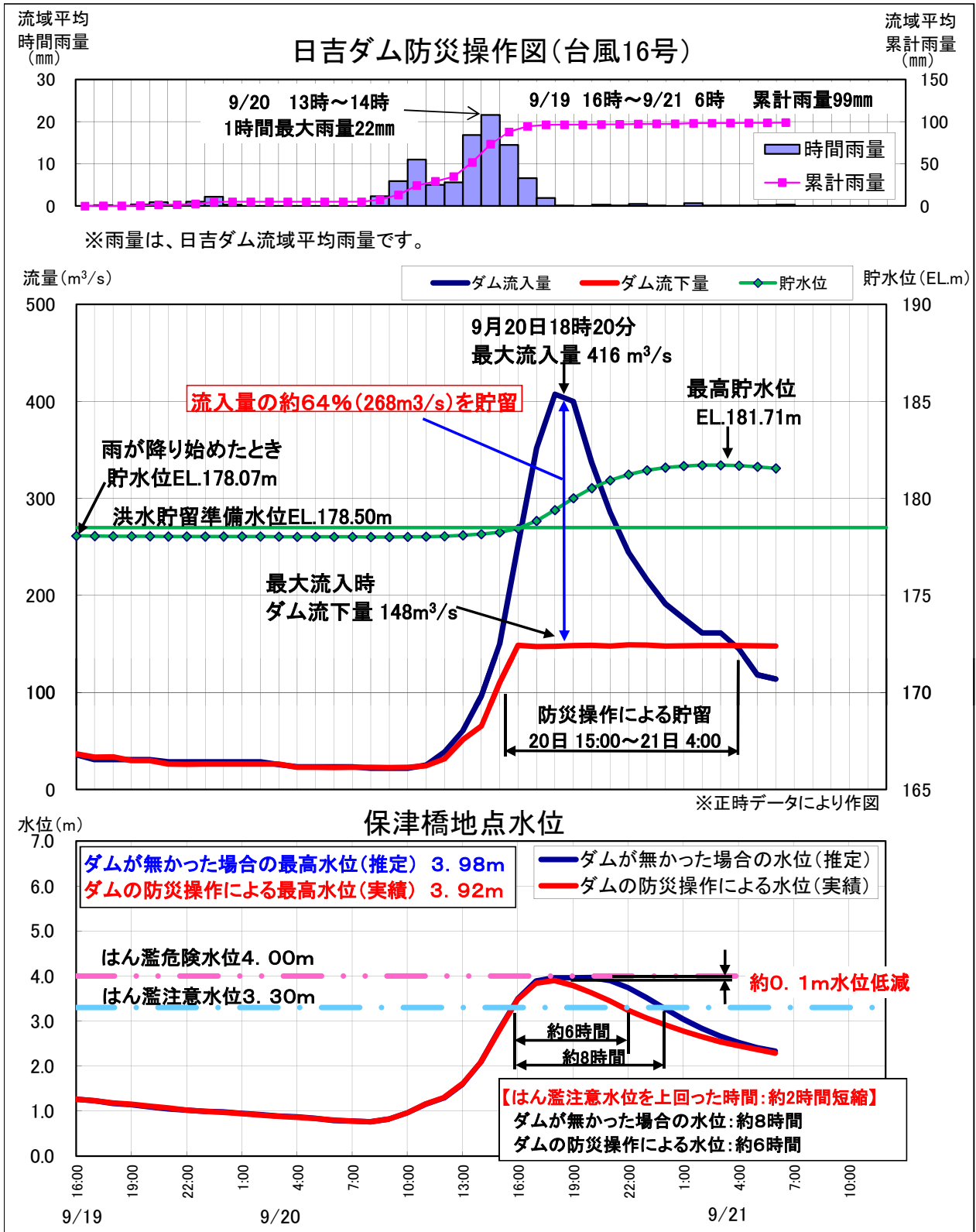
河川水位は、高い状態が続いています。十分ご注意ください。

日吉ダムでは、今後もダムの効果が最大限に発現できるよう努めて参ります。

位置図



・日吉ダム最大流入時に約64%を貯留、保津橋地点のはん濫注意水位超過時間を短縮



管理開始(平成10年4月)以降の最大流入量大きい主な出水と今回の記録

順位	出水名	総雨量 [mm]	最大流入量 [m <sup>3</sup> /s]	最大流入時のダム流出量[m <sup>3</sup> /s]	最大流入時の貯留量[m <sup>3</sup> /s]
1	平成25年 9月 台風18号	345	1,694	148	1,546
2	平成26年 8月 前線	214	1,291	42	1,249
3	平成26年 8月 台風11号	298	913	14	899
12	平成28年 9月 台風16号	99	416	148	268

※ 管理開始(平成10年4月)以降の出水で、最大流入量大きい方から3番目までと今回を記載しています。

※ 数値等は速報値であり、今後の精査により変わることがあります。

## 日吉ダム最大流入時に約64%を貯留、保津橋地点のはん濫注意水位超過時間を短縮

■台風16号の影響により、淀川水系桂川の日吉ダム流域では、1時間雨量で最大22mm、降り始めからの総雨量は99mmを観測しました。この降雨により、ダムへの最大流入量は毎秒416立方メートルを記録しました。

■日吉ダムでは、最大流入時に約64%（毎秒268立方メートル）の水をダムに貯留し、京セラドーム大阪約4杯分（492万立方メートル）に相当する水をダムに貯め込みました。今回の防災操作により、ダム下流の保津橋地点（亀岡市保津町下中島地先）の河川水位を最大約0.1メートル低減し、はん濫注意水位（3.30m）の超過時間を約2時間短縮したものと想定されます。

最大流入時に約64%の水をダムに貯留し、京セラドーム大阪<sup>\*</sup>約4杯分に相当する水をダムに貯め込み、ダム下流の河川水位の低減に努めました。（<sup>\*</sup>京セラドーム大阪の容量を120万 $m^3$ として算出）

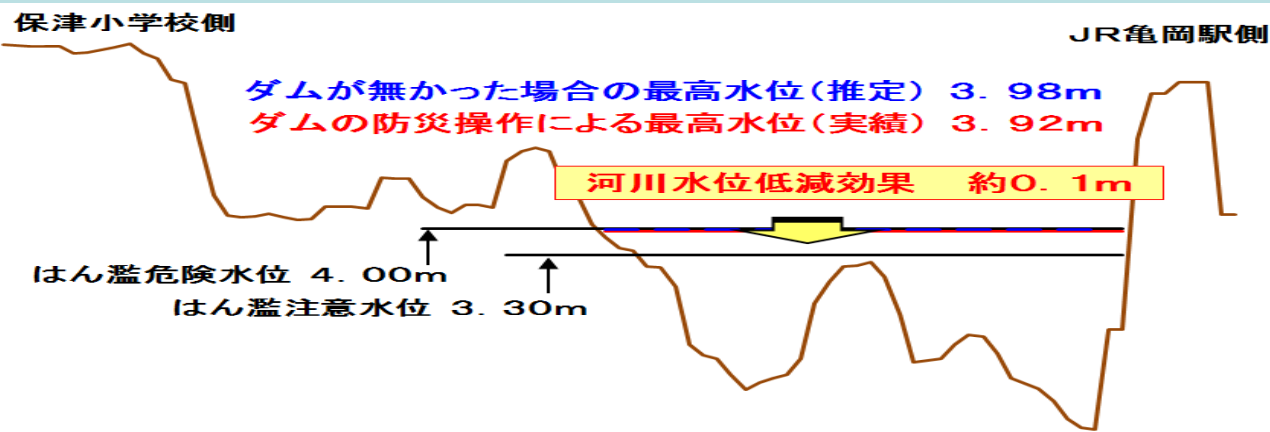


（貯水位EL.178.03m：平成28年9月20日10時30分）



（貯水位EL.180.96m：平成28年10月21日10時20分）

## 保津橋地点（保津川下り乗船場付近）での水位低減効果



【訂正：写真の年月日】

平成28年10月21日 10時20分

→ 平成28年9月21日 10時20分

※ 今回の発表は速報値であり、今後の精査により数値等が変わることがあります。